パイプひずみ計取扱い説明書

●組立及び設置方法

1 スリーブ差込み部分に硬質塩化ビニル用接着剤を塗布し、速やかに赤基準線を合わせ接続して下さい。

2 パイプひずみ計の深度を間違えないように接続していき、コードを一定間隔にビニールテープでパイプに固定し保護しながら孔底まで挿入して下さい。

（コードの被覆がこすられたり、はげたりしますと、絶縁低下で測定不能になることがあります）

3 赤ラインを地すべり移動方向（山側・谷側）に合わせます。

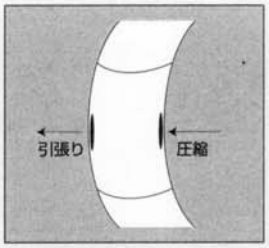
（測定器の動作環境、ユーザーの指導により異なります。ひずみ計の動作〈下図〉を参考にし、方向を決めて下さい。）

4 洗砂等を用いてパイプと地盤の間に空間ができないよう埋め込んで下さい。

5 埋設後地上部に出たコードはまとめてビニールテープ等で保護して下さい。また端子部分に水、泥がかからないよう保護箱に収納して下さい。

●動作について

地中のパイプに外力が作用して曲げが生じた場合、ひずみ計の一方に圧縮、他側は引張りが現れます。

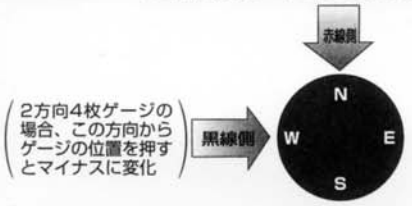


●当社のひずみ計は赤線側を押した（圧縮ひずみ）場合、マイナスに変化します。

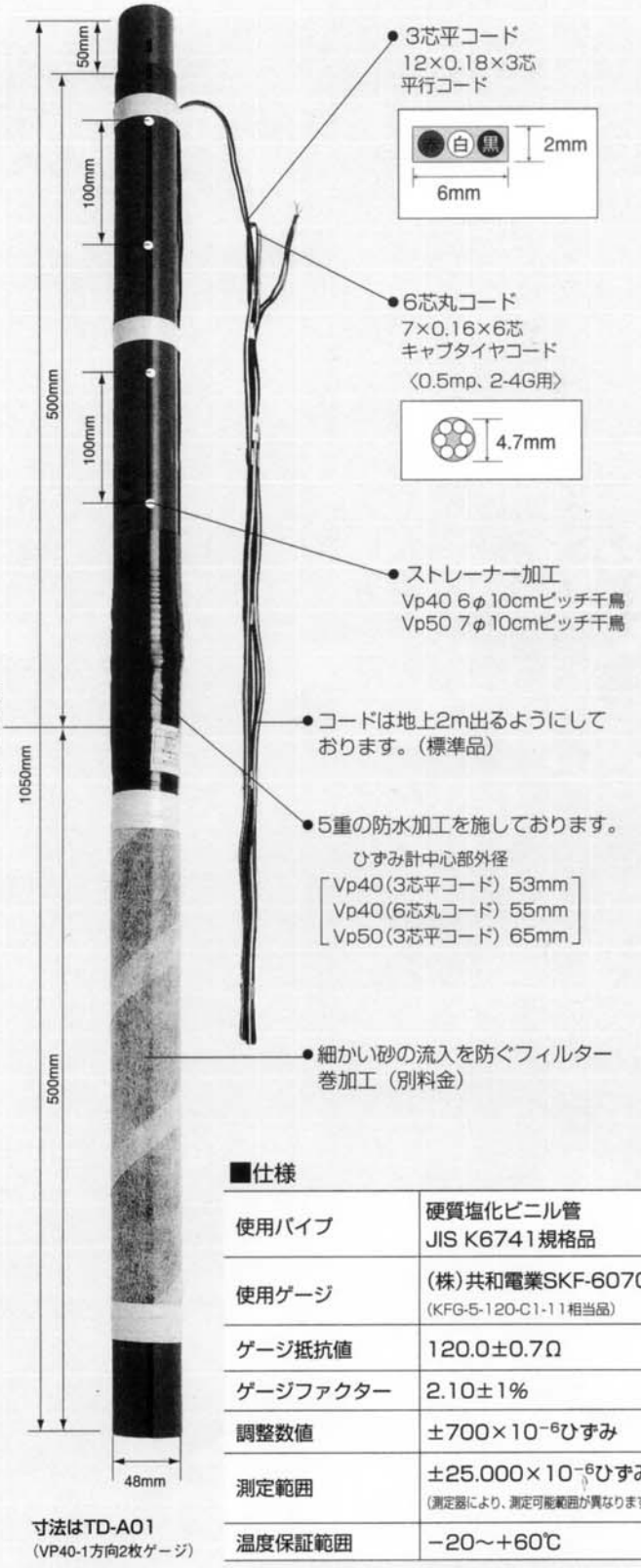
赤線を山側に向けて、山側より圧縮ひずみがかかった場合 ▶ **−に変化**

赤線を谷側に向けて、山側より圧縮ひずみがかかった場合 ▶ **＋に変化**

この方向からゲージの位置を押すとマイナスに変化



（2方向4枚ゲージの場合、この方向からゲージの位置を押すとマイナスに変化）



寸法はTD-A01
（VP40-1方向2枚ゲージ）

■仕様

使用パイプ	硬質塩化ビニル管 JIS K6741規格品
使用ゲージ	（株）共和電業SKF-6070 (KFG-5-120-C1-11相当品)
ゲージ抵抗値	120.0±0.7Ω
ゲージファクター	2.10±1%
調整数値	±700×10^{-6}ひずみ
測定範囲	±25.000×10^{-6}ひずみ (測定器により、測定可能範囲が異なります)
温度保証範囲	−20〜+60℃

●本器取扱注意点

- 測定器により動作環境が異なる場合があります。埋設前に導通チェック、動作環境をお確め下さい。
- 直射日光のあたらない場所に保管して下さい。
- 高温になる場所に放置しないで下さい。
- コードを強く引張ったり、踏みつけると、断線する事があります。
- 落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。

パイプひずみ計・各種計測器

株式会社東京電機

〒386-0407 長野県上田市長瀬平戸工業団地1107-3

TEL (0268) 42-6052　FAX (0268) 42-6535

URL●http://www.tokyodenki.com